

施策	事業名	事業概要	旧市町村名	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
5. 分権型のまちづくり											
(1) 都市内分権の推進											
185	総合事務所の整備	政令指定都市移行後の新市は、地方自治法にもとづき市長の権限に属する事務を分掌させるために行政区を設置し、区役所を開設することになるため、各市町村役場の活用(大規模修繕)または新設により総合事務所(政令市移行後の区役所)を整備する。 ・総合事務所(区役所)整備	全市	全区	完了	計画どおり完了 事業実施に伴う詳細設計による実績額の減。	H17-H18	H17-H18	7,500,000	3,403,054	市民協働・地域政策課
186	本庁舎および周辺整備に関する調査	来庁者・職員の安全、利便性を考慮した施設整備を目標とし、合併及び政令市移行に伴う組織移転並びに職員数の増加に対応した本庁舎及び周辺施設の整備を図る。	全市	全区	実施困難(必要性)	庁舎の移転は、浜松城公園長期整備構想や社会経済情勢を踏まえ、長期的視点で調査研究をしていく必要がある。 庁舎建設には十分な検討や市民の理解を得ることが不可欠である。	H20-H22	—	15,000	—	アセットマネジメント推進課
(2) 個性豊かな地域づくり											
187	(仮称)本田宗一郎記念館建設事業	天竜で生まれ育ち、浜松で起業して、一代で世界の「ホンダ」を築き上げ、今も多くの人々に愛される故本田宗一郎氏を顕彰し、氏の功績などを後世に残すため記念館を建設する。	天竜	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	既存の施設(旧二俣町庁舎)を活用し、施設整備を実施したため。	H18-H19	H17-H21	400,000	292,484	創造都市・文化振興課
188	「Z」(片山豊)記念館整備事業	旧春野町出身でフェアレディーズの生みの親として知られ、米国自動車殿堂入りした日本人4人(本田宗一郎、豊田英二、田口玄一、片山豊)の中の一人である「片山豊」氏の功績を称え、春野の誇りとして後世に偉業を伝承し春野のイメージアップを図るために「Z」(片山豊)記念館を整備し、併せて新たな観光資源として活用する。	春野	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	旧春野町時には、ミスターKとして米国自動車殿堂入りを果たした片山豊氏の功績を称え、日産フェアレディーズ愛好者を中心に「Z」カーイベント開催していた。平成23年からは「Z」カーイベントからオールドカー in K's ROADとして活動を行っており、近年は約4,000人から10,000人程度参加するイベントとなっている。併せて、春野文化センターにおいて片山氏の記念品等展示コーナーの常設をしており、記念館の整備に替えて観光資源として活用している。	H24-H25	H24-R2	108,000	—	市民協働・地域政策課
189	すみれの里ミュージアム整備事業	宝塚歌劇団育ての親「白井鐵造」生誕の地であり、ふるさとを想い作詞したと言われる歌劇団愛唱歌「すみれの花咲く頃」に因み進めている「すみれの里づくり」のシンボル及び拠点施設としてミュージアムを整備し、広域交流の推進と地域活性化を図る。	春野	天竜区	完了(附帯理由付き完了)	浜松市と宝塚市における「すみれ」をきっかけとした音楽交流や民間団体による宝塚歌劇団OBが参加するイベント開催などにより広域交流の推進が図られている。また、既存の白井鐵造記念館の展示内容の更新や民間団体による文化センターを活用した企画展開催により誘客を図り地域活性化が図られている。	H22-H23	H22-R2	55,000	—	市民協働・地域政策課
190	(仮称)「浜名湖博物館」建設構想調査事業	浜名湖圏域の生活文化を一堂に集めた博物館及び文化・芸術に触れる機会の提供の場として、渚園を観光交流の拠点にフィッシャーマンズワフ、緑地公園、産業考古館、シーフードレストラン、遊園地等の整備構想に関する調査をする。	舞阪	西区	完了	計画どおり完了 No.61と合わせて整理したことから実績額なし	H24-H26	H23-R1	30,000	—	観光・シティプロモーション課
191	舞阪往還通りにぎわい施設整備事業	舞阪町の歴史的な資料等を展示し、脇本陣の附属資料館的な位置付けとする。同時に地場産品等の物販も行い、往還通りの商業活動の拠点となるような施設の整備を行う。(遠州信用金庫舞阪支店跡地)	舞阪	西区	実施困難(実現性)	旧遠州信用金庫舞阪支店が耐震性の問題から解体撤去された。また舞阪町内での津波防災の課題が優先され、当該地は避難タワーの建設地となった。	H18-H26	—	67,000	441	文化財課
192	埋蔵文化財発掘調査	埋蔵文化財を保護・保存し、公共的な活用に役立てるため、試掘により、包蔵地の把握及び周知を行うと共に、出土品の保存・管理を行う。また、開発等で遺跡が破壊される場合は事前に発掘を行う。	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	13,000	52,896	文化財課

施策	事業名	事業概要	旧市町村名	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
193	根堅遺跡整備事業	本州で唯一の旧石器時代人骨出土地として関心が高まっている根堅遺跡を、一般にわかりやすく公開できるよう整備する。	浜北	浜北区	実施困難(実現性)	根堅遺跡調査団が浜松市と協定を結んで平成29年から平成30年にかけて現地調査を行った。現在は採集資料の理化学的分析を行っており、最終的には総合調査報告書を刊行予定。遺構が崖地にあり崩落の危険があること、岩水寺境内地内にあること、学術調査に基づいた整備方針を定めるべきであるが調査は現在も継続中であるなど課題が多く整備は困難。	H20-H22	—	220,000	—	文化財課
194	遠州山辺の道整備事業	遠州山辺の道として、旧浜北市の区域内にあるある寺社・史跡・万葉関係・神話や伝承地等の地域資源を活用しながら、散策コースを整備する。 ・主な地域資源: 赤門上古墳、二本ヶ谷積石塚古墳群史跡公園、万葉の森公園、不動寺、庚申寺、岩水寺、根堅遺跡、向野古墳など	浜北	浜北区	完了	計画どおり完了 入札結果に伴う実績額の減。	H17-H26	H17-H26	25,000	12,255	文化財課
195	浜北北部地域史跡保存整備事業	大平城は鴨江城(旧浜松市)、千頭峯城(旧三ヶ日町)とともに、南北朝時代に三嶽城(旧引佐町)を本拠とする井伊氏の支城の一つとして築かれたものである。大平城跡等の北部地域の史跡を保存・整備とともに、4つの城の関係などについて調査・研究する。	浜北	浜北区	完了	計画どおり完了	H26-H27	H22	12,000	12,809	文化財課
196	重要文化財宝林寺方丈保存事業	重要文化財宝林寺方丈の茅葺屋根の老朽化に伴う葺き替えと建具等を修繕する。	細江	北区	完了	計画どおり完了	H17-H18	H19-R2	39,000	52,910	文化財課
197	中村家住宅保存事業	重要文化財中村家住宅は平成12年2月に雄踏町に寄贈され、解体復元工事を平成13年度から15年度にかけて実施した。今後約20年度ごとに茅葺屋根の葺き替えが必要となる。	雄踏	西区	完了(附帯理由付き完了)	たびたび茅葺屋根の専門家に診てもらったが、重要文化財中村家住宅の茅葺屋根は状態が良好であり、当面葺き替えをする必要はないため。	H25	R5	20,000	—	文化財課
198	文化財建造物防災施設整備事業	国指定重要文化財(建造物)「鈴木家住宅」を保護する。 ・防災施設整備事業補助金 ・全自動消防ポンプ設備<放水銃>設置事業に係る補助金	引佐	北区	未完了のため継続	計画策定時は県指定であったが、平成19年に国の重要文化財に指定されたことにより、新たに国の指導に基づく防火施設整備を含めた保存整備が必要になった。令和3年度に国から認定される見込みの「文化財保存活用地域計画」に従い、作成が望ましいとされている個別文化財「保存活用計画」を作成し、計画に基づいた整備を行う。	H17-H26	R5-	34,000	—	文化財課
199	郷土芸能などの振興事業	各地域が郷土の文化芸能の保存育成に取り組む。 ・各種の民俗芸能大会等へ出場する団体への激励金の交付 ・無形民俗文化財のプロモーション活動 ・次世代への無形民俗文化財継承事業	全市	全区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H20	H17-R2	—	2,696	文化財課
(3)電子自治体の推進									3,782,000	8,592,487	
200	市民コールセンターの整備拡充	市民に対するサービスの向上と効率的な行政経営のため、現在の市民コールセンターを拡充整備し、CRM(シチズンリレーションシップマネジメント)の推進を図る。 ・市民コールセンターシステムの構築 ・専用コールセンターの整備	全市	全区	完了	計画どおり完了	H19-H21	H19-H20	30,000	44,443	広聴広報課
201	電子市役所推進事業	国におけるIT基本法、e-japan戦略、電子政府の基盤整備などの動向を踏まえ、電子申請等のオンラインによる行政手続きも可能とする電子市役所システムを構築する。	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	412,000	748,447	情報政策課

新市建設計画 施策別主要事業実績概要内訳表

単位:千円

施策	事業名	事業概要	旧市町村名	区名称	R2年度末の状況	進捗状況の理由	計画年度	実施年度	計画額	実績額	本庁所管課
202	庁内情報ネットワークの整備及び職員研修	迅速・的確な行政運営を行うため、パソコン・ネットワーク等のインフラ整備を進め、庁内の情報共有化を図る。 ・インフラ整備や職員の人材育成 ・総合行政ネットワーク(LGWAN)の管理・運用	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	1,708,000	6,186,782	情報政策課
203	行政事務効率化支援システム整備事業	合併や政令指定都市移行に伴い、サーバの乱立による管理コストや職員負担などのコスト増、個人情報漏洩のリスクが高まることが予想されるため、各課が共同で利用可能な新たな共同利用サーバシステムを構築する。	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施 事業実施に伴う詳細設計による実績額の減。	H17-H26	H17-R2	942,000	153,723	情報政策課
204	地域情報系システム統合事業	合併に向けて情報システムの統合等を行う。 ・新税務システム合併対応機器増強、外国人システム用サーバの増強 ・ホームページの構築 ・業務用端末の導入 ・システム開発用ホストコンピューター及び戸籍システム統合用サーバの導入 ・戸籍システム再構築、庁内LAN整備	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了	計画どおり完了 事業実施に伴う詳細設計による実績額の増。	H17	H17	400,000	980,085	情報政策課
205	地図作成(都市計画区域内、都市計画区域外)	旧市町村所有の地形図を新市として統一するため、都市計画決定・変更に必要な手続き用地形図、地図情報システム用地形図を作成する。 ・地形図(1/2,500、1/10,000)、地図情報システム用地形図	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了	計画どおり完了	H22-H23	H17-H18	170,000	225,289	都市計画課
206	総合地図情報システム整備事業費	従来個別に必要となっていた地形図整備の費用を低減するとともに、日常業務の効率化、行政の高度化、市民サービスの向上を図るため、保有する地図情報システムを統合し、都市計画、道路等の情報を一元管理する。	浜松	中区 東区 西区 南区 北区	完了(経常事業のため継続)	経常事業のため継続実施	H17-H26	H17-R2	120,000	253,718	情報政策課